



国際会長 (IP) Wichian Boonmapajorn (タイ)

“Mission with Faith”

「信念のあるミッション」

アジア地域会長 (AP) Edward K.W. Ong (シンガポール)

“Through Love, Serve”

「愛をもって奉仕をしよう」

東日本区理事 (RD) 渡辺 隆 (甲府)

「原点に立って、未来へステップ」

“Stand at the origin and take a step for the future”

湘南・沖縄部部長 (DG) 今城 高之 (横浜つづきワイズメン&ウイメンズ)

「一人ひとりが愛と平和の種をまこう」

横浜クラブ会長 (CP) 金子 功

「クラブの伝統に誇りを、明日に自信を」

“Pride and confidence for the future”

会長 金子 功
副会長 高杉 治興
書記 伊藤 誠彦
会計 古田 和彦
直前会長 天野 皓司

監事 舟田 正夫
ブリテン 高田 一彦
担当主事 青木 一弘

<今月の聖句>

押川 幸男

「イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。そのとき、占星術の学者たちが東の方からエルサレムに来て、言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに幼子のいる場所の上に止まった。学者たちはその星を見て喜びにあふれた。家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。」

(マタイによる福音書2章1-2, 9-11節)

22回夏季学校での決議が契機となりました。学生YMCAの夏季学校の草創期(第6回:1894年)では、内村鑑三が、後の歴史的名著となる「後世への最大遺物」(1897年)の講演を行っています。東山荘の歩みは、時代に先駆けしたキリスト教精神に基づく青年運動としてのYMCAの歴史の証しです。

東山荘は、国内の子ども達のための自然と共に生きる環境教育の基地です。と同時に同盟主催「地球市民育成プロジェクト」の拠点として、日本のみならずアジアや世界に繋がる次世代の若者たちのための大切な教育・交流の場となっています。

東山荘には、もう一つのホットなトピックがあります。今放映中のNHKの朝ドラ「あさが来た」のヒロイン、広岡浅子との関わりです。広岡浅子は、幕末の時代に炭鉱や銀行、生命保険会社などの事業を起業し、日本初の女子大学創設に貢献した著名な実業家です。広岡浅子は、大阪YMCAや大阪YWCAとも繋がりがあり、キリスト教による青少年教育の発展に尽くした人でした。「東山荘ものがたり」(落合則男著)によると、広岡浅子は100年前の東山荘建築に際し、当時、「参佰圓」という多額の献金をし、三井男爵や岩崎男爵(各「壹仟圓」)等からの多大な寄附の実現にも尽力しました。東山荘の献堂式には、広岡浅子が御殿場市長と共に来賓として挨拶しています。

ワイズ東日本区からは新本館建設に際し1,000万円という貴重なご寄附を賜りました。心から深くお礼を申し上げます。東山荘の、そして100年後の若者たちへの“後世への最大贈物(ギフト)”のために、皆様これからもご支援のほどお願い致します。

今月のひとこと

「東山荘100周年と広岡浅子」

日本YMCA同盟 大江 浩

横浜ワイズの皆様のYMCAへの励ましとお支えに深く感謝致します。

YMCA東山荘の100周年記念事業・新本館建築が10月に着工しました。東山荘は、創立されて125年を超える歴史を持つ学生YMCAの夏季学校のための

常設館として1915年に設立されました。東山荘設立は、先立つ1911年、井深梶之助・原田助・新渡戸稲造らの第



<2015年11月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
20名 (功労 会員1 名を含 む)	メン 15名 メネット 5名 コメット 0名 ビジター 2名 ゲスト 1名 合計 23名	80 % (メーキャップ 名を含む) 前月修正出席 率	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 3,493g 現金 0円

<12月の行事予定>

EMC/MC

日	曜	時間	行事内容	場所
10	木	17:00	横浜クラブ二例会	廣東飯店
10	木	18:00	横浜クラブ第一例会 兼85周年記念例会	廣東飯店
17	木	18:30	横浜Yクリスマス会	とつかY

<11月例会報告>

高田 一彦

日時：11月12日(木) 18:30~20:30

場所：横浜中央YMCA 501号室

出席者：天野、伊藤、今村、大高、押川、メ、金子、メ、
神村、メ、古賀、メ、齋藤、高杉、メ、高田、成瀬、
舟田、古田、山添、
ビジター：今城高之(つづき)、伊藤幾夫(東京コスモス)
ゲスト：田辺裕(卓話者)

古田ワイズの司会で始まった11月例会、金子会長の開会点鐘と挨拶では、「今月もわくわくするクラブ例会です」との発声で始まり、ワイズソング、ワイズの信条、聖句に続いて、ゲスト・ビジターが紹介された後、本日のハイライトの古賀健一郎氏の入会式に移った。古賀氏は、伊藤ワイズ(東京コスモス)の紅葉坂教会の教友で、地元の横浜クラブへ是非と紹介されたものであった。



入会式の古賀メン・メネット

古賀ワイズは、メネットと共に入会式に臨まれ、今城部長、高杉ワイズ、紹介者の伊藤ワイズの立会いの下に、金子会長の入会式文に力強い宣誓の言葉を発せられた。立会人の祝辞に続いて、古賀ワイズの挨拶では、「ワイズの主旨に共感を覚えており、9月号の伊藤ワイズの『今月のひとこと』に共感し、You&Iコンサートを通じてワイズの暖かさを深く感じた事」等が述べられた。

卓話では、金子会長の中学友である田辺裕氏(東京大学名誉教授、前国際地理学連合副会長)による、「地域名称の問題点『日本海』か『東海』か」と題して、国際的にも論争となっている日本海の呼称について、地理学の専門的立場から歴史的な変遷を展開され、興味深いものであった。ビジネスに移って金子会長より、行事予定、十勝じゃがいもの横浜

訓盲院、水上学園への配達、今月23日の横浜中央YMCA ウェルカムフェスタへの支援要請、横浜クラブ会則及び細則検討委員会の発足、12月例会は横浜クラブ創立85周年記念礼拝と感謝祝会を中華街の廣東飯店で行う事、等々が報告された。最後に、Happy Birthdayの3名(伊藤、押川ワイズ、神村メネット)を祝って、金子会長の閉会点鐘となった。本日のロバ献金は、16,000円であった。

「ウェルカムフェスタ」

伊藤 誠彦

11月23日(月・祝)、横浜中央YMCA ウェルカムフェスタ2015が開催された。横浜ワイズの担当は例年通り「蚤の市」。会場は602教室。

20日(金)にYのスタッフの方々が予め搬入しておいて下さった品物を、13名のメン・メネットが協力し、誰が指図するでもなく、それぞれが自分の裁量で持ち場を担当し、14:00~17:00までの間に、陳列、値付けをほぼ終了し、フェスタ当日を迎えた。

当日は8時半に集合、前日やり残した作業を手際よく片付けて、記念撮影も終え、10時の開場を迎えた。



バザー開始直前のメンバー

開場と同時にドットと入場者が押し寄せ、11時過ぎま

での間は、品定めする人であふれかえり、大混雑の様相を呈した。

毎年品薄感が増す中で、それでも今回の売り上げは115,530円と健闘した。

入場者の中には買い物に熱中するあまり、必ずしもお行儀が良いとは言えない人もチラホラと見受けられる。バザーの品は、善意で出品されたものであり、売上金は国際・地域協力募金として難民支援や貧困の無い世界を築くための浄財として活用されることを、会場のあちこちにウェルカムフェスタ開催の意義を強調するポスターを貼るなどして、訴えてはどうだろうか。YMCAの活動に係わる人達を啓蒙することも重要なことだと思う。

準備を含めた参加者は、天野、メ、伊藤、メ、遠藤、大高、メ、金子、メ、神村、メ、古賀、メ、齋藤、高田、メ、成瀬、舟田、メ、古田、山添の20名でした。

「第71回Y-Y's協議会報告」

金子 功

第71回Y-Y's協議会が12月1日(火)午後7:00より横浜中央YMCA501号室で開かれた。今回は横浜つづきクラブが担当。開会礼拝は生井知三担当主事の司会。

田口総主事は、日頃のワイズの支援に感謝するとともに、昨年より横浜YMCAが国際・地域協力募金で始めたカンボジアのストリートチルドレンを救済する支援事業の現地調査にこの11月にカンボジアを訪問し、横浜YMCAの海外事業の意義を確認したこと等を含め挨拶した。今城部長は、部

会、実行委員長を務めたチャリティーランの成功、今後の部活動計画等について述べた。

協議・報告事項は辻つづきクラブ会長の司会で進められた。

- 1) YMC A-Y's 合同新年会について：2016年1月16日(土) 18:30~21:00; ホテル・プラム; 会費:6,500円。積極的な参加が協議された。
- 2) 2015年度YMCA会員大会(大会委員長加藤利榮ワイズ); 2016年2月11日(木・祝); 湘南とつかYMCA。ワイズの積極的な参加が協議された。

各クラブの報告では、横浜クラブは①今期4人の会員増員、②チャリティーラン、ウェルカムフェスタへの参加、③12月のクラブ創立85周年記念例会、④来年2月24日の第3回外国人留学生に依る日本語スピーチコンテストの計画について報告した。

YMCA側からは、国際地域・協力募金、短期研修団光州YMCA派遣等最近のYMCA事業活動について報告された。
出席者：ワイズ12名(横浜：金子)、YMCA8名
次回Y-Y's：16年3月1日(火); 横浜クラブ担当

「自己紹介」

古賀 健一郎



私は、原爆被災地 長崎の生まれです。私が通った高校の前を流れる浦上川は、全身を焼かれた被爆者たちが水を求めて集まり、そこで亡くなった方々で埋めつくされました。こうした悲しみに満ちた歴史の中で育った私は、『平和』

を強く希求します。

私の教会の日曜学校では中高生と、身近に感じる『平和』について語り合い、『へいわをつくりだすわたしたち』の題で歌にしました。彼らにとっての『平和』とは、いじめや暴力、差別等から解放され、『心の安らぎ』を得ることでした。

私の、“相互理解と敬愛の思いに結ばれた『ワイズメンズクラブ』”の第一印象は『温かいぬくもりの雰囲気』でした。さらに10月都筑公会堂での『You & I コンサート』(あなたと私、障害児のこどもたちと共に)を聴き、その気持ちが強まりました。音楽ファンの私は新鮮な感動を覚えました。音楽会の趣旨を理解された演奏家の方々、演奏を聴いている私たちと障害児のこどもたち、そして、この音楽会をしっかりと支えている『ワイズメンズクラブ』とボランティアの方々、この三者の『相互理解と敬愛に満ちた、見事なハーモニー(一体感)』が、音楽会を最高の素晴らしいものへと導きました。私はそこに、『平和をつくりだす』一つのヒントを見つけた思いがしました。諸先輩が長い歴史の中で築かれた、会の伝統と崇高な精神を大切に受け継ぎながら、私も微力ながら、主体的に関わってまいりたいと思います。

皆様、どうぞよろしくお願い致します。



「山登り」

天野 皓司

ここ数年、秋になると娘家族と山登りをするようになった。それまで山には全く無関心であったが、健康の話をしてゆくうちに山にでも行こうかという事になった。

一 昨年は先ず手始めに高尾山。ケーブルカーや山道は昔の面影通りであったが、どこもかしこも人で溢れていた。平坦な道がほとんどで、山登りと言うにはやや物足りなかった。

昨年は足柄の金時山。高尾山と違ってかなりきつい登り・降りであったが、小学生の孫息子は我々を尻目に実に身軽で、得意満面。それにしても山頂から見た富士山は、青空をバックに言いようのないほど美しかった。

そして今年10月には大菩薩峠。学生時代に登った時は、確か夜行で塩山まで行き、朝まだ暗い内に登り始めた記憶している。今回は8時半に家を出て車で中腹まで行き、ほぼ1時間で峠にたどり着いてしまった。峠から山頂までの尾根伝いは一面野原で視界も良く、快適な登りであった。大菩薩峠は日本百名山のひとつと知って、一同大喜び。帰路は中央道の大渋滞に巻き込まれ、家に着いた時には8時を過ぎていた。

そして11月には御岳山。大菩薩で懲りたので朝早く出たが、駐車場が大渋滞。とんでもないところに駐車させられ、登山口まで30分程歩かされることになった。山道には神社や寄進者の名が刻まれた石碑が並び、正に信仰の山であった。溪流や滝を巡る2時間ほどのコースは、きつい登りや降りもあって心地よい疲れを覚えた。それにしても東京にこんな静寂な自然があるとは驚きであった。

一連の山登りを通して感じたことは、外国の人が非常に多かったこと。観光地や買い物に現を抜かすのではなく、日本の美しい自然を静かに楽しむ姿に好感を持った。そして全くと言っていいほどゴミや吸い殻が見られなかったのも、日本人の「おもてなし」の心に通じるものがあるのだろう。大事にしたいものである。

「新しいいのちをいただいて」

押川 幸男



今年の11月の誕生日で還暦を迎えました。この年まで守られ、生かされて感謝です。先日のあるテレビ番組で、五輪真弓(シンガーソングライター「恋人よ」が代表曲)のインタビューがありました。その中で、彼女が次のようなことを語っていました。「私の還暦前の数年間は、体調を壊し、声も出なくなり、そのため歌も歌えず、人生で最悪の時のように感じていた。ところが、還暦を迎えた時、不思議と体調が良くなり、声も出るようになった。

再び新しい生命(いのち)をいただき、その気持ちを「ボーン・アゲイン」という曲で表現した。」彼女は番組の中で、その歌を感情を込めて歌っていました。その表情から苦しみを乗り越えた安堵感と希望が伝わってきました。

私自身も還暦を一つの節目として、新しい使命(ミッション)と新しいいのちをいただいて、ワイズの活動や奉仕にも積極的に参加したいと思っています。今はアドヴェントの季節。アドベンチャー(冒険)の心で、主のご降誕の出来事であるクリスマスワクワクドキドキの想いで待ちながら、この季節を過ごしましょう。

第二例会報告

古田 和彦

日時：11月26日(木) 17:00~19:30
場所：中央YMCA 501号室

出席者：天野、伊藤、金子、齋藤、高田、古田、山添、松島
協議・確認・検討事項

1) 行事予定

Y-Y's 協議会、横浜YMCAクリスマス会

2) 第3回日本語スピーチコンテスト：

日本語学校担当者平岡さんと検討

日時：2月24日(木) 13:00~16:00

会場：中央YMCA 9階チャペル、812教室

高田ワイズを実行委員長とし、平岡さんとの連絡調整。
今後、審査員の人選(女性・若手の起用)、審査基準の再検討を図る。

3) 横浜クラブ創立85周年記念例会・感謝会(12月例会)

日時：12月10日(木) 18:00~20:30

場所：横浜中華街廣東飯店 参加費：5,000円

記念礼拝をもち、押川ワイズに説教をお願いする。

招待者・案内先は部長、クラブ会長元当クラブメンバー。

4) 次次期部長の選任要請が部長からきており、検討するも、
良い知恵が出ず保留。

5) 横浜クラブの次期役員選出：継続審議

6) 横浜クラブ会則・施行細則の見直し

伊藤ワイズから「見直し作業」案が提示され、それに従い、
12月第2例会にて項目・担当者を決めて進めることとした。

7) メネット委員会への献金を12,000円とした。

8) 十勝ポテトの個人購入者の支払額には送料は含めないこととした。
(送料はクラブ負担)

9) 卓話予定

2月以降：齋藤由也さん、横浜YMCA専門学校(語学・作業療法)、
水上学園理事長

10) IBC、DBC宛にクリスマスカードを準備した。12月例会時に各自にサインをお願いする。



担当主事 青木 一弘

●ミャンマー洪水、東日本(関東・東北)豪雨災害緊急支援募金集計とお礼

10月末まで実施いたしました、「ミャンマー洪水緊急支援募金」、
「東日本(関東・東北)豪雨災害緊急支援募金」の募金合計額の報告となります。
皆様のご協力ありがとうございました。ミャンマー洪水：187,071円、
東日本(関東・東北)豪雨災害：446,641円

なお、現在も現地では困難にあっている方々が多くいます。
また、現地YMCAに於いてもスタッフやボランティアが支援活動を行っています。
皆さんのお祈りを続けていただければと思います。

●富士山YMCA年末年始ファミリーキャンプ

富士山YMCAで素敵なお正月を過ごしませんか。一番の魅力は、
世界遺産「富士山」の裾野から上がってくる初日の出です。
新しい年を皆で賑やかに向かえましょう！

実施日時 12月31日(木)~1月2日(土)

集合/31日(木)13:30 解散/2日(土)13:00

※JR富士駅、駅からの送迎も可能です(要事前予約)

内容 カウントダウンパーティ、手作り凧作り、キャンプファイアー、
スターウォッチング

餅つき大会・豚汁作り等

対象 お子様を含むご家族、ご親族(税込)

費用宿泊棟A棟 大人 26千円/小人 23千円

宿泊棟B棟 大人 25千円/小人 22千円

キャビン棟 大人 24千円/小人 21千円

申込 電話で富士山YMCAまでお申し込みをお願いいたします。
(0544-54-1151)

●横浜YMCAクリスマス会のお知らせ

クリスマスのイルミネーションが輝く季節となりました。2000年前の救い主イエス・キリストの誕生が、この世で最も小さくされた人々に大きな喜びをもたらしたことを思い、私たちも苦しみの中にある方々のことを覚え、多くの人々とともにこのクリスマスの喜びを分かち合いたいと思います。

日程 12月17日(木)

会場 湘南とつかYMCA 1階ホール

受付開始 18:00

クリスマス礼拝 18:30~19:00

祝会 19:00~20:00 (別途参加費要)

12月/85周年記念例会プログラム

日時：12月10日(木) 18:00~20:30

場所：横浜中華街 廣東飯店

司会：高田ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶 金子 会長

2. ワイズソング・ワイズの信条 全員

3. ゲスト・ビジター紹介 金子会長

4. ビジネス・報告 金子会長

5. 記念礼拝

聖書朗読(今月の聖句) 司会

奨励・祈祷 押川ワイズ

6. 記念撮影

7. 食前感謝 押川ワイズ

8. 会食・歓談・一言 全員

9. 閉会点鐘 金子会長

例会報告：伊藤ワイズ

1月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
16	土	18:00	Y-Y合同新年会 (兼第一例会)	ホテル プラム
28	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央Y
30- 31	土		部長沖縄公式訪問 第2回評議会	沖縄

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは横浜YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org

電話 046-641-5785